

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象 5年生

説明文「東京スカイツリーのひみつ」で筆者の考えの中心となる事柄に注目し、要旨をまとめる活動をしてきた。要旨をまとめる際に筆者の意見を確認し、事例を読み取ることで、文章の構成や論の進め方を捉える学習をした。子どもたちは、限られた字数内で要旨をまとめるために、筆者の考えや事例についてどの言葉を入れたら分かりやすいかを考え、何度も言葉を吟味しながら文章を書きあげるなど、粘り強く取り組んだ。

2. 単元名 自分の意見をもって読もう「わたしたちとメディア」(全8時間)

3. 単元で育成を目指す資質・能力の三つの柱につながる単元の評価基準

①知識・技能	①言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ②文章の構成や展開について理解している。
②思考・判断・表現	①「読むこと」において、事実と意見との関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ②「読むこと」において、目的に応じて、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ④「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
③主体的に学習に取り組む態度	①進んで論の進め方について考え、筆者の意見を読み取り、学習課題に沿って自分の考え方をまとめようとしている。

4. 本時の目標

メディアリテラシーの力とは、情報を読み解く力と情報を活用する力だと考えている子どもたちが、これまでに読み取ってきた各メディアの特徴や関わり方を読み解く力と活用する力に分類し、筆者が伝えたいことについて自分の考えをもって友達と話し合うことを通して、筆者の考えの要旨をまとめている。

5. 授業展開【本時・単元】

解決したい課題や問い

筆者の考えるメディアリテラシーの力とは、どんな力なのかな。

考えるための材料

材料A	材料B
教材文	第2次で作成したワークシート
想定される活動	想定される活動
課題に対する、根拠となる叙述を本文から探すという活動が身に付いているので、該当部分にサイドラインを引いて、思考の整理を行う。	各々のメディアについてまとめたワークシートを基に、読み解く力と活用する力に分類し、筆者が伝えたいことを考える。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

筆者の考えるメディアリテラシーの力とは、どんな力なのかな。

○筆者の言う「メディアリテラシーの力」について確認する。<全体:5分間>

- ・「メディアリテラシーの力」とは、筆者の考えの④段落に書いてあったよ。
- ・①情報を読み解く力と②情報を活用する力のことだね。

○それぞれのメディアを使うときには、読み解く力と活用する力のどちらを使っているのかな。

<個人→全体:10分間>

(本文やワークシートを基に考えられるようにする。)

[テレビについて]

- ・情報を受け取る側は、受け身になって見るのではなく、制作者側の意図を考えながら注意深く情報を読み取るんだね。(読み解く力)
- ・編集される前の情報への接し方や映像をとったりあつかったりする際のプライバシーの問題には、これまで以上の注意が必要だね。(活用する力)

[新聞について]

- ・ある程度は信用できるが、「まちがうこともある」と思って読むことも大切だね。(読み解く力)
- ・ある出来事やテーマに対して、読者それぞれが自分の意見を述べ合うことにより、人によってさまざまな意見があること知り、投書を通して、社会に関わることができるね。(活用する力)

[インターネットについて]

- ・自分の知りたい情報にすぐにたどりつくことができ、たくさんの情報にふれることで、さまざまなことに興味をもって、新たな知識を得ることもできるよ。(読み解く力)
- ・情報を共有したり交流したりするなど、情報の送信者と受信者の両方向のコミュニケーションを可能にする働きがあるね。(活用する力)

○筆者の考える「情報を読み解く力」と「情報を活用する力」とは何だろう。

<個人:まとめる時間20分間→全体:交流の時間10分間>

- ・インターネットはとても便利だけれど、個人が思い込みで流している情報もある。「この情報は本当に正しいか。」「他の記事はどう伝えているか。」と考えてみることは、大切だ。
- ・新聞は情報が正確なことが多いけれど、例えば台風情報や災害情報などのすぐに知りたい情報はインターネットやテレビの方が便利なこともある。何を知りたいかによってメディアを使い分ける力は大切だと思う。

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- ・メディアリテラシーの力をつけるには、それぞれのメディアを使うときに気を付けることを意識しないとけない。その中でも新聞を読む時には、書かれた情報がある程度信用しながらも、絶対ではないことを忘れないようにしたい。そして、自分が意見を言いたいときには、投書を通していろいろな人の意見も同時に知るようにしたい。
- ・メディアリテラシーの力をつけるには、それぞれのメディアを使うときに気を付けることを意識しないとけない。例えば、インターネットを使う時には、情報をリアルタイムで知ることができ、災害時にはとても役に立つと思う。けれど、速いがために誤った情報である可能性も考えないとけないと思う。そして、SNSの便利さと怖さも理解することが大切だと思う。
- ・実際にメディアリテラシーの力をつけるために、何をしたらよいのだろう。